

- ・ 我々の身の回りの材料の大半は「流れ」ます。
 - ・ 非常に長い時間をかければ、不動に見える岩や大地も流れていきます。
 - ・ その流れるものを「測る学問」がレオロジーです。
- ・ レオロジーは「お触りの科学」とも言われています。
 - ・ 人間の五感（とくに触覚）は極めて優秀であり、
 - ・ 手触りで物質の特徴の違いを直感的に区別できます。
 - ・ しかしながら、この直感的な区別を材料や商品の開発へと結びつけることは困難です。
 - ・ 直感的な区別が定性的であり、定量性がないためです。
- ・ レオロジーの本質をきちんと理解することで、
 - ・ 材料の違いを明確に区別する方法がイメージでき、
 - ・ 材料の設計のポイントもわかってきます。